

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	里山を元気にするかい
事業主体 (連絡先)	美しい横堰の里をつくる会 (住所 東御市新張 1282-1 担当 森 勝方)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード事業
総事業費	1, 446, 900円 (1, 067, 000)

事業内容

- ① 里山の整備：8月～11月、横堰、参加のべ142名、下草刈り・森の案内、横堰ランチ
- ② 里山マップ・看板づくり：8月～11月、横堰、参加のべ50名、会議など。
- ③ 体験交流事業：8月～1月、横堰と周辺、東京も含む。「里山大交流会」開催。セミナーの中心人物の人材育成、チラシ作製・配布。当日参加のべ460名。



【交流会の様子】

事業効果

※1 自己評価 (事業実施率) 【 B 】

- ① 里山の整備 (下草刈) ⇒案内 (説明) ⇒横堰ランチ (交流会) という流れをつくった。
- ② 里山マップ・看板づくり・HPをつくった。マップ (現物×ネット上)、看板 (大きい×小さい)、HP (見れる×見れない) 選択が一つでないことがわかる。横堰内の会員、横堰以外の会員いろいろな意見があることがわかる。
- ③ 「里山大交流会」は1万枚のピラを会員が1ヶ月で配布できた。当日の分科会への参加は会員・ボランティア32名を含めのべ460名の参加があった。新聞関係のマスコミにはほぼ全紙で紹介され、影響は今後も大きいと考えられる。人材育成ということでは年齢により温度差があった。

今後の取り組み

- ① 里山整備⇒ランチの流れが無理なくできるようにしたい。
- ② HP、FB等を通じて連絡を密にする仕組みをつくる。
- ③ 会員をもう少し増やす。
- ④ 活動を継続できる資金を確保する。

【目標・ねらい】

- 里山整備を通じて交流・活性をはかる。
- 里山マップ・看板・HPづくりを通じて地域を知る
- 「里山大交流会」で自分の生活・意見を述べ共感していただく。情報を発信できる人材育成をはかる。

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70～89%、「C」50～69%、「D」49%以下で示すこと。
 ※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある